

話題



地域の催し物やまちのできごとを写真で紹介します。

盛りあがった夏まつり(雄勝)

今ではお盆の恒例行事として定着した「おがつ夏まつり」が今年も8月14日(日)に開催されました。

雄勝総合支所から雄勝公民館までの沿道において「おがつ節」、「タキオズソーラン2」の曲にあわせて盛大にパレードが行われました。子どもも大人も参加者全員が色とりどりの艶やかな衣装を身にまとい、華やかな大行列の中を元気いっぱいに踊っていました。



笑顔輝く 玄米ダンベル体操(河南)

7月29日(金)、北村の遊楽館で「玄米ダンベル体操」を愛好している桃生地区の「ピーチダンベルクラブ」と河南地区の「楽しくニギニギ隊」による交流会が行われました。参加した女性メンバー60人は、ダンベル体操やリズムダンスなどで心地良い汗を流しながら、親睦を深めました。

参加者たちは、「玄米ダンベル体操に出会えて体調が良くなった経験を通して、お互いの地区でさらに広めていこう」と意欲を見せていました。



水沢市の友だちと 共同学習(北上)

8月3日(水)・4日(木)の両日、岩手県水沢市と石巻市北上町の児童や生徒が友好の輪を広げようと、北上町のにっこりサンパークや白浜海水浴場を会場に自然体験学習を行いました。

今回行われた自然体験には、水沢市から33人、北上町から47人の児童やジュニアリーダーが参加しました。

参加者は、キャンプファイヤー、野外炊飯、海水浴や地引き網などを楽しみ、互いの友情を深めました。



熱く燃えた かほくの夏(河北)

8月7日(日)、メディアシップ前をメイン会場に「2005 サマーフェスタ・イン・かほく」が開催されました。

昼の部のステージでは、毎年大人気の「サマービンゴ」に多くの方が参加したほか、「The玉入れ」や「カラオケ大会」で盛り上がりを見せ、また、夜の部のステージでは、ちびっ子等郷土芸能や婦人団体ショーに19組が出演し、楽しい演奏や演舞が披露されました。

熱く燃えた祭りのフィナーレには、何発もの豪華花火が夜空を飾ると、訪れた方々は「ほっと」夏の疲れを癒していたようでした。

まちの

このコーナーでは、



激走8時間！（桃生）

8時間のうちに三輪車でコースを何週回ることができかを競う『全日本8時間耐久三輪車レース』が7月31日（日）、石巻市桃生総合センターで行われました。

これは、住民にやさしい環境のまちづくりを目指し、社会福祉法人東北福祉会がボランティアの実行委員会を組織し開催したものです。県内外から20チームが参加し、19チームが完走しました。

レースで使用した三輪車は子ども用のものではなく、競技用に改造したスピードの出るもの。出場者の方々は、猛暑の中、汗だくなりながら必死にペダルを漕いでいました。



網地島の魅力を満喫！（牡鹿）

自然豊かな網地島で、シーカヤックや磯釣り、植物観察などを体験する「あじ島冒険楽校」が開校され、県内から50人以上の親子らが参加しました。

これは、網地島地区モデル・コミュニティー推進協議会が主催したもので、7月29日（金）から1泊2日の日程で2コースが実施されました。

参加者は、網地島の海や自然を存分に満喫し、楽しい夏の思い出ができたようです。



今年も夜空に1万5000発（石巻）

好天に恵まれた、8月6日（土）・7日（日）、いしのまき川開き祭りが開催され、大勢の人で賑わいました。

6日夜は、東北2番目の規模を誇る15,000発の花火が夜空に打ち上げられ、19万3千人もの観衆を魅了していました。